

慢性の偏頭痛治療 呉茱萸を常用して

Q 二十六歳、女性。慢性の偏頭痛で悩んでいます。頭痛薬を常用しているため胃の調子もよくありません。生理不順・生理痛もあり、生理前に頭痛やいらいらが強くなります。何かよい漢方薬はありますか。

A 慢性の頭痛には種々の原因があるが、西洋医学的検査には異常の現れない、偏頭痛や筋緊張性下痢が圧倒的に多い。

質問者のような偏頭痛には呉茱萸湯（ごしゆとう）が第一選択剤である。寒冷刺激・疲労・生理前に起こる痛みには有効で、足の冷え、吐き気を伴う胃腸障害には特によい。首筋から耳の後ろ、こめかみ、頭頂にかけて激しく痛む時に比較的即効性のある薬で、一服で症状が消

失することも多い。生理痛もすみやかに軽減することができる。

しもやけができるなど冷えの強いタイプは当归四逆加呉茱萸生姜湯（とうきしぎやくかごしゆゆしようきようとう）がよい。どちらも呉茱萸の味が苦いが胃腸にやさしい。しかも通常の西洋薬と違い、痛む時だけではなく平素から服用することによって、いわゆる「頭痛持ち」から解放される例が少なくない。この点が漢方薬の持ち味といえる。

適応は「冷えて痛む」ことが重要な条件なので、顔が赤い・のぼせるなど「熱状」のある偏頭痛には用いない。このタイプには五苓散（ごれいさん）をお勧めする。足がむくみやすい、水分を多くとるが尿量は少ない傾向がある。